



2025年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年12月26日

上場会社名 フィードフォースグループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 7068 URL <https://feedforcegroup.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）塚田 耕司
問合せ先責任者 （役職名）グループ執行役員グループ担当 （氏名）西山 真吾 TEL 03 (6732) 5488
半期報告書提出予定日 2025年1月14日 配当支払開始予定日 2025年1月31日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年6月1日～2024年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	2,084	△2.8	762	1.2	666	3.0	637	2.4	400	128.2
2024年5月期中間期	2,143	14.0	753	42.0	647	60.9	622	56.1	175	—

（注）包括利益 2025年5月期中間期 400百万円（127.9%） 2024年5月期中間期 175百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期中間期	15.77	15.60
2024年5月期中間期	6.73	6.61

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額（販売費及び一般管理費）

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期中間期	7,330	3,032	39.9
2024年5月期	7,559	2,889	36.9

（参考）自己資本 2025年5月期中間期 2,925百万円 2024年5月期 2,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年5月期	—	5.00	—	—	—
2025年5月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,580	8.3	2,014	39.3	1,800	45.5	1,781	52.7	1,172	147.6	45.90

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額（販売費及び一般管理費）

※ 注記事項

- （1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- （2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年5月期中間期	25,408,158株	2024年5月期	25,768,658株
② 期末自己株式	2025年5月期中間期	一株	2024年5月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年5月期中間期	25,415,792株	2024年5月期中間期	26,109,053株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料につきましては、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループの主要な事業領域である国内インターネット広告市場の2023年の市場規模は、社会のデジタル化を背景に堅調に伸長し、前年比7.8%増の3.3兆円と過去最高を更新しました。総広告費における構成比は45.5%を占め、広告市場全体の成長をけん引しております（出典：株式会社電通「2023年日本の広告費」）。また消費者向け電子商取引（BtoC-EC）市場は、経済産業省による2023年の調査「令和5年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」によると、国内のBtoC-EC市場の市場規模は前年比で2.1兆円、9.2%増の24.8兆円と引き続き拡大しています。物販系分野のBtoC-EC市場規模については、2023年において、伸長率は鈍化したものの前年比4.8%増の14.6兆円となり拡大傾向が継続しております。また、EC化率（全ての商取引市場規模に対する電子商取引市場規模の割合）が前年比0.3ポイント増の9.4%となるなど、BtoC-EC市場は依然として着実な成長を続けております。

当社グループは「『働く』を豊かにする。～B2B領域でイノベーションを起こし続ける～」をミッションに掲げ、「プロフェッショナルサービス事業」、「SaaS事業」、「DX事業」の3セグメントにおいて事業を展開しております。セグメント間のシナジー効果を発揮する組織体制は当社グループの最大の強みであり、それに加えて、収益性・安定性・成長性において異なる特性を有しているため、利益を拡大しつつ成長投資を推進してまいりました。

当中間連結会計期間においては、プロフェッショナルサービス事業及びSaaS事業において、採用の強化や機能開発に取り組み、継続して成長を維持するための組織基盤の構築を行ってまいりました。また第三の柱となるDX事業においては、連結子会社である株式会社フラクタのShopify関連事業を同じく連結子会社である株式会社リワイアへ事業譲渡する事業再構築を行いました。DX事業における中核を担う株式会社リワイアに経営リソースを集約し、ポストCookieや生成AIなど今後のデジタルマーケティング環境で必須となるサービスの新規事業の開発を推進し、Shopifyアプリ・IDソリューションなどの新サービスのリリースを行ってまいりました。

この結果、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、下表の通りとなりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

	2024年5月期 中間期 (累計)	2025年5月期 中間期 (累計)	増減額	増減率 (%)
売上高	2,143	2,084	△59	△2.8
EBITDA	753	762	9	1.2
営業利益	647	666	19	3.0
経常利益	622	637	14	2.4
親会社株主に帰属する中間純損益	175	400	225	128.2

※EBITDA＝営業利益+減価償却費+のれん償却額

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

<セグメント区分について>

セグメント名	所属サービス、所属カンパニー	詳細
プロフェッショナルサービス事業	「Anagrams」アナグラム(株) 「DF PLUS」(株)フィードフォース	デジタルマーケティングサービス (広告マーケティング支援、インターネット広告運用代行、データフィード構築運用)
SaaS事業	「ソーシャルPLUS」(株)ソーシャルPLUS 「CRM PLUS on LINE」(株)ソーシャルPLUS 「dfplus.io」(株)フィードフォース 「EC Booster」(株)フィードフォース	サブスクリプション型ツール提供サービス (ソーシャルログイン・メッセージ配信ツール、データフィード管理ツール、Googleへの商品掲載・広告運用自動化ツール)
DX事業	「Omni Hub」(株)フィードフォース 「どこポイ」(株)リワイア 「App Unity Xross ID&IDP」(株)リワイア 「Shippinno」シッピーノ(株) 「FRACTA」(株)フラクタ	EC事業支援サービス (Shopifyアプリ開発、EC構築支援サービス、ECの出荷・受注業務自動化ツール、ブランド戦略設計)

<セグメント別業績>

(単位：百万円)

		2024年5月期 中間期 (累計)	2025年5月期 中間期 (累計)	増減額	増減率 (%)
プロフェッショナル サービス事業	売上高	1,196	1,224	27	2.3
	営業損益	541	466	△74	△13.7
SaaS事業	売上高	526	615	89	17.0
	営業損益	217	221	4	2.0
DX事業	売上高	420	245	△175	△41.6
	営業損益	△111	△21	89	—
合計	売上高	2,143	2,084	△59	△2.8
	営業損益	647	666	19	3.0

<プロフェッショナルサービス事業>

プロフェッショナルサービス事業では、エンタープライズを中心とした企業に対し、運用型広告代行及びデータフィードマーケティング等のデジタルマーケティング支援を行っております。

当中間連結会計期間においては、成長を維持しつつ、広告運用コンサルタントの採用による運用体制強化を行った結果、前中間連結会計期間と比較し、増収減益となりました。

<SaaS事業>

SaaS事業では、エンタープライズからSMBまで幅広い企業に対し、セルフサービスで高度なマーケティングが実施できるツールとして、データフィード管理やソーシャルログインシステム等をSaaSにより提供しております。

当中間連結会計期間においては、主にLINEメッセージ配信サービスやShopifyアプリ「CRM PLUS on LINE」の需要が高く、順調に推移した結果、前中間連結会計期間と比較し、増収増益となりました。

<DX事業>

DX事業では、主にEC事業者を対象としてShopifyによるサイト構築やShopifyアプリなどの開発・提供を行っております。

当中間連結会計期間においては、Shopifyアプリによる収益の増加が順調に推移した一方、株式会社フラクタの事業再構築を行った結果、前中間連結会計期間と比較し、減収損失減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は7,330百万円となり、前連結会計年度末に比べ229百万円減少いたしました。

(流動資産)

当中間連結会計期間末の流動資産合計は、6,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円減少いたしました。

(固定資産)

当中間連結会計期間末の固定資産合計は、1,319百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円減少いたしました。これは主にのれんが23百万円、及び顧客関連資産が54百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末の流動負債合計は、3,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ357百万円減少いたしました。これは主に買掛金が398百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末の固定負債合計は、1,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、3,032百万円となり、前連結会計年度末に比べ143百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が400百万円増加した一方、資本剰余金が283百万円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ207百万円増加し、3,730百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、482百万円の収入（前年同期は418百万円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額301百万円があった一方、税金等調整前中間純利益の計上638百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、47百万円の支出（前年同期は101百万円の収入）となりました。これは主に、敷金の差入による支出26百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、226百万円の支出（前年同期は313百万円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出299百万円があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年6月27日付「2024年5月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,522	3,730
売掛金	1,575	1,819
前渡金	892	396
その他	221	80
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	6,198	6,011
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	42	40
その他（純額）	29	33
有形固定資産合計	72	73
無形固定資産		
のれん	263	239
顧客関連資産	610	556
その他	0	6
無形固定資産合計	874	802
投資その他の資産		
投資有価証券	105	105
繰延税金資産	143	168
その他	166	169
投資その他の資産合計	414	443
固定資産合計	1,361	1,319
資産合計	7,559	7,330
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,684	1,285
短期借入金	66	200
1年内返済予定の長期借入金	1,170	1,085
未払法人税等	301	276
賞与引当金	73	78
その他	199	213
流動負債合計	3,496	3,139
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
繰延税金負債	172	158
固定負債合計	1,172	1,158
負債合計	4,669	4,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	37	54
資本剰余金	1,052	768
利益剰余金	1,705	2,106
株主資本合計	2,795	2,929
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3	△4
その他の包括利益累計額合計	△3	△4
新株予約権	96	106
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,889	3,032
負債純資産合計	7,559	7,330

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
売上高	2,143	2,084
売上原価	718	634
売上総利益	1,425	1,449
販売費及び一般管理費	777	783
営業利益	647	666
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
助成金収入	—	0
投資事業組合運用益	1	—
その他	5	0
営業外収益合計	7	1
営業外費用		
支払利息	7	9
持分法による投資損失	23	19
その他	1	1
営業外費用合計	32	30
経常利益	622	637
特別利益		
投資有価証券売却益	86	—
資産除去債務戻入益	44	—
固定資産受贈益	32	—
新株予約権戻入益	7	0
その他	0	—
特別利益合計	170	0
特別損失		
投資有価証券評価損	0	—
減損損失	290	—
その他	0	—
特別損失合計	290	—
税金等調整前中間純利益	502	638
法人税、住民税及び事業税	300	276
法人税等調整額	27	△39
法人税等合計	327	237
中間純利益	175	400
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△0	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	175	400

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）
中間純利益	175	400
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
中間包括利益	175	400
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	175	400
非支配株主に係る中間包括利益	△0	△0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	502	638
減価償却費	67	72
のれん償却額	38	23
減損損失	290	—
固定資産受贈益	△32	—
持分法による投資損益（△は益）	23	19
資産除去債務戻入益	△44	—
株式報酬費用	11	18
賞与引当金の増減額（△は減少）	△3	4
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	7	9
投資事業組合運用損益（△は益）	△1	—
投資有価証券評価損益（△は益）	0	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△86	—
売上債権の増減額（△は増加）	△116	△244
仕入債務の増減額（△は減少）	△45	△398
前渡金の増減額（△は増加）	13	496
未払消費税等の増減額（△は減少）	△37	32
その他	82	18
小計	668	691
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△7	△9
法人税等の支払額	△396	△301
法人税等の還付額	153	102
営業活動によるキャッシュ・フロー	418	482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12	△14
無形固定資産の取得による支出	—	△7
投資有価証券の取得による支出	△6	—
投資有価証券の売却による収入	89	—
敷金の回収による収入	29	—
敷金の差入による支出	—	△26
その他	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	101	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	366	133
長期借入金の返済による支出	△485	△85
株式の発行による収入	9	24
自己株式の取得による支出	△199	△299
その他	△4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△313	△226
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	207	207
現金及び現金同等物の期首残高	2,596	3,522
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,803	3,730

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の取得）

当社は、2024年6月27日開催の取締役会において、会社法第165条の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式436,000株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が299百万円増加しました。

（自己株式の消却）

当社は、2024年6月27日開催の取締役会において、会社法第178条に基づく自己株式の消却をすることを決議し、自己株式436,000株の消却を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、資本剰余金が299百万円、自己株式が299百万円それぞれ減少しました。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロフェッショナルサービス事業	SaaS事業	DX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,196	526	420	2,143	—	2,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	0	23	△23	—
計	1,196	549	420	2,167	△23	2,143
セグメント利益又は損失 (△)	541	217	△111	647	—	647

（注）1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失（△）の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「DX事業」において、株式会社フラクタに関連するのれんについて、将来の事業計画を見直した結果、当初計画していた収益が見込めなくなったと判断したため、中間連結会計期間にのれんの未償却残高290百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

II 当中間連結会計期間（自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロフェッショナルサービス事業	SaaS事業	DX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,224	615	245	2,084	—	2,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9	4	13	△13	—
計	1,224	624	249	2,098	△13	2,084
セグメント利益又は損失 (△)	466	221	△21	666	—	666

（注）1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失（△）の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。